

第 19 回北海道新幹線倶知安駅周辺整備推進委員会

開催報告

1. 日時

2025 年 3 月 19 日（水）14：00～

2. 場所

倶知安町役場 2 階 会議室



3. 議事

（１）西口広場機能について … 資料 1

（倶知安町 西口主幹）

- ・北海道新幹線の函館～札幌間の開業が 2038 年以降と 14 年後以降になるとの報道を受け、土地利用やそのほか駅周辺の状況も変わることから、本日提示する西口広場の検討内容は、町として検討する幅を持たせたく、立体駐車場案と平面駐車場案の 2 パターンを残す方針でいきたい。この点について、委員の皆様にご了承いただきたい。

（吉田委員長）

- ・委員の皆様いかがか。

（委員一同）

- ・異論なし。

(倶知安町 西口主幹)

- ・資料 1 について説明

(岩佐委員)

- ・整備費が建築費と言う理解でよろしいか？

(倶知安町 西口主幹)

- ・そのとおり。

(窪田委員)

- ・検討ケースⅠ-①や③等の駅前広場の形状が、検討ケースⅠ-④と異なり長方形ではないのはなぜか。

(ドーコン朝倉)

- ・ロータリーの軌跡を踏まえ、今の駅前広場の形状となっている。

(窪田委員)

- ・今後の検討になるかと思うが、交通広場の緑色の部分に植栽を植える場合、見え方も変わるかと思う。緑地の部分をどうするかという検討は必要。

(佐藤委員)

- ・検討ケースⅠ-③の平面駐車場部分も融雪するのであれば有料としていいと思う。

(倶知安町 西口主幹)

- ・平面駐車場でも料金を徴収できる方法を考えたい。

(峠委員)

- ・くとしんパークと体育館の駐車場は、これまでどおりの使い方となるのか。

(倶知安町 西口主幹)

- ・体育館の駐車場は、体育館の利用者が使用する分を今後も確保する必要がある。くとしんパークの駐車場は将来的な土地利用を含めた検討が必要であり流動的な部分があることから代替え地を含めて今後検討をしていく。
- ・一旦、本日示した案で検討を終えたいと思う。スケジュールを精査した上で、委員会を再開したい。令和 7 年度で委員の任期が切れることから、委員を再開する際は改めてお願いさせていただく。

(吉田委員長)

- ・新幹線開業に関して、感想を頂きたい。

(柏谷委員)

- ・工事が中止となるわけではないので、段階的な変化を気にしていく必要はある。
- ・転車台の検討を1回行い、価値を感じてくださっている方がいるように思っている。開業時期が10数年後となる中、転車台の整備の必要性を含め、色々議論していく必要がある。

(岩佐委員)

- ・今の時代の10年の動きを考えると、開業予定の14年後がどうなっているのか想像つかないが、時代にあった駅になればいいと思っている。

(佐藤委員)

- ・2030年開業であれば新幹線に乗れると思っていたが、14年後となると乗れない可能性がある。10年ひと昔という言葉があるので、俱知安町の様子も変わる可能性も大きい。駅舎も駅のホームも大きく変わる可能性があると感じている。若い世代に期待したい。

(二川原委員)

- ・新幹線開業がこれほど遅延するのは予想外だった。現時点でも観光シーズンになると混雑を制御するので手一杯。開業時期が延びた分、混雑対策への準備期間に充てたい。
- ・開業時期が14年後よりも早まる可能性があるかについても、聞けると助かる。新幹線開業は早ければ早い方が良いので、情報共有を今後もお願いしたい。

(波方委員)

- ・新幹線の開業を楽しみにしていたので残念ではあるが、開業まで14年後といってもあつという間に過ぎてしまうかもしれない。スケジュールが前倒しになる可能性もあるので、今まで検討してきた内容をベースに、気に留めていきたい。まちの状況や人口動態、建築費の高騰にも注視したい。

(峠委員)

- ・工事自体は続くと思うので、開業時期が延びたにせよ変化はあると思うので、それに合わせて準備していくことが必要。開業時期が延びた分、在来線に対する課題があると思う。

(青柳委員)

- ・開業の5年前が工事のデッドラインと聞いていたので、その視点でみると時間がたくさんあるわけではないように思う。今ある検討をブラッシュアップし、開業に備えてはと思っ

ている。

(窪田委員)

- ・今までの議論は、見えない中で色々決めていくプロセスだったかと思う。開業時期が延びたことで、民間開発を進める場合の時間が出来たので、駅を拠点とした戦略的なまちづくりを進められると、周辺の土地利用としてもいいのではないか。攻めの姿勢で、今後も頑張っていたきたい。

(吉田委員長)

- ・資料準備をしてくれた事務局およびWEB参加の皆様にも改めてお礼を申したい。
- ・観光客は順調に倶知安町にきており、倶知安への注目度は続いている。この点を踏まえ、今後も検討を続けていきたい。

以上